

授業科目	*初年次セミナー I				実務家教員担当科目	-	
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	木村 政伸						
授業概要	<p>大学は、学生自らが目的をもって主体的に学ぶ場である。基礎的な知識の上に、着想力、論理性、表現力、独創性などの力が求められる。本科目は、初年次セミナー I（前期）および II（後期）で構成されており、大学での学びの質を高めるために必要なスタディ・スキルズを身につけることを目的とする。</p> <p>初年次セミナー I では、個人あるいはグループでの学習活動を軸に、大学で学ぶためのスタディ・スキルズの基本である『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力の強化を図る。具体的には、講義の聴き方、本の読み方、問いの立て方、レポートの書き方、より深い学びを得るための文献検索の方法、インターネット等の ICT 活用法など、大学で主体的に学ぶための技法の習得を目指す。また、情報倫理に基づくメディア・リテラシーの習熟を図る。</p>						
授業形態	講義			授業方 法			
学生が達成すべき行動目標							
標準的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に学ぶためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』を鍛錬・強化できる。（DP 1-1） 2. グループ内での人的交流を通して、自己および他者を理解することができる。（DP 3-1） 3. 他者と相互に学び合う関係を築くために、自分の考えを述べることができる。（DP 3-1） 4. グループ学習において、目標達成にむけて他者と協力し行動できる。（DP 3-1） 5. 課題解決のために、探求する姿勢を身につけることができる。（DP 4-1） 6. 自らの行動変容の必要性に気づき、修正へと繋げることができる。（DP 4-1） <p>大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力を身につけ、他者と協働して学ぶ姿勢がみられる。</p>						
理想的 レベル	<p>大学での学びの質を高めるためのスタディ・スキルズ『聞く』『調べる』『読む』『書く』『考える』力を身につけ、自ら積極的に課題を探求し、他者と相互に学び合う関係を築くことができる。</p>						
評価方法・評価割合							
	評価方法	評価割合（数値）			備考		
	試験						
	小テスト						
	レポート	50%					

発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物		15%									
その他		35%									
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリン グ	NU10201J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
・復習：該当部分の復習をする										1	
授業計画											
第1回	講義①：大学での学びとは（木村） ・大学で学ぶとは ・そのためのスタディ・スキルズとは										
第2回	講義②：オリエンテーション（木村） ・初年次セミナーについて（目野） ・ポートフォリオについて：準備と活用方法（中原）										
第3回	グループワーク① ・グループワークの目的、GWの流れ（全教員） （グループ編成・自己紹介 他）										
第4回	グループワーク②<アイデアの収束法 1> ・アイデアの収束法（木村） ・KJ法を用いた収束法の練習（全教員）										
第5回	グループワーク③<アイデアの収束法 2>（全教員） ・KJ法を用いてアイデアを構造的にまとめる ・班ごとに1枚の図式を作成し、発表する										
第6回	グループワーク④<アイデアの発表法 1>（全教員） ・ゼミを4班に分ける ・ディバートの準備 テーマについての賛成・反対意見について根拠を調べ、KJ法を用いて論点などを整理する										
第7回	グループワーク⑤<アイデアの発表法 2>（全教員） ・第1回は、4班が2組に分かれて賛否の意見を発表し、討論する ・第2回は、班の構成を変え、1回と異なる立場から賛否を発表し、討論する										
第8回	講義③：情報倫理の基本「情報倫理」（情報課職員）										

	ゼミ別： <ul style="list-style-type: none"> ・個人ワーク①：グループワーク②～⑤を通しての反省と、これからの課題について自己評価シートを作成する（全教員） ・ポートフォリオの整理・活用（全教員）
第 9 回	講義④：情報収集の基礎（図書課職員） <ul style="list-style-type: none"> ・蔵書・文献検索の基本（CiNii Research、Google Scholar、J-STAGE 他 利用） ・著作権の基本知識 ・文献カードの記載方法（図書・雑誌 他）
第 10 回	講義⑤：本の読み方・レポートの書き方（木村） <ul style="list-style-type: none"> ・文献について ・適切な引用方法について
第 11 回	<課題レポート（1）> 講義⑥ <ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート概要（目野） 読解：文献の読み方、「問いをたてる」について説明（目野） ・文献カードの記載法（図書・雑誌など） ・問いを立てる→振り返り（全教員） レポートの書き方・文献カード・引用法振り返り グループワーク⑥：課題発見 個人ワーク② <ul style="list-style-type: none"> ・課題発見 ・文献を探す/文献検索（CiNii Research、Google Scholar、J-STAGE 他 利用）
第 12 回	<課題レポート（2）>（全教員） 個人ワーク③ <ul style="list-style-type: none"> ・文献を探す/文献検索（CiNii Research、Google Scholar、J-STAGE 他 利用） ・文献を読む ・問いを立て、プロットを組む
第 13 回	<課題レポート（3）>（全教員） 個人ワーク④ <ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成(2000 字程度)
第 14 回	<課題レポート（4）> ゼミ別：レポートフィードバック（全教員） 個人ワーク⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・レポート作成・仕上げ ・要旨の作成（200～400 字程度）

第 15 回	<p><課題レポート(5)> (全教員)</p> <p>グループワーク⑦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内でレポート内容について発表する ・自己のレポートを振り返る <p>個人ワーク⑥</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの整理をする
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、講義資料等、印刷物を配布します。 ・ポートフォリオにファイリングして、インデックスをつけて整理しましょう。
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・溝上慎一著『大学生の学び・入門』 有斐閣アルマ ・学習技術研究会編著『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ』 くろしお出版 ・新谷恭明・折田悦郎『大学とはなにか』 海鳥社
課題に対するフィードバックの方法	<p>学生が提出したものについては、適時添削などを行ったうえでフィードバックする</p>
学生へのメッセージ・コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・分野にこだわらず、様々な領域を扱う書籍・芸術・情報に関心を持ちましょう。 ・疑問や興味を持ったテーマについて、図書館などデータベースを活用し、学びを深めましょう。 ・基本的なパソコン操作を修得しましょう。 <p>本セミナーでの学びを充実させるには、自らが進んで課題を探求していく姿勢が大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題以外にも様々なことに興味関心を持ち、自ら学ぶ積極的な姿勢で取り組みましょう。 ・図書館を利用し、主体的に学ぶ学習習慣を確立しましょう。 ・仲間との協働を通じて得る学びは貴重です。グループワークには、意欲的に臨みましょう。